

令和 6 年度 自己点検・評価報告書 検証結果

本学では、大学全体の内部質保証に責任を持つ「内部質保証推進会議」の組織体制のもと、学部、研究科及び各種委員会等が P D C A サイクルに基づいた点検を行い、その結果を踏まえ、毎年度、自己点検・自己評価委員会において「自己点検・評価報告書」を作成し、内部質保証推進会議で評価・検証を行っています。また、内部質保証推進会議は、検証結果が次年度の活動に反映されるよう、各部局・部署に対して改善措置を指示する役割も担っています。

この度、自己点検・自己評価委員会から提出された「令和 6 年度自己点検・評価報告書」をもとに、各部局等の取り組みについて検証しました。ここ数年取り組んで来た学生の単位修得状況や国家試験の合格率、就職率等を活用した学修成果の点検・評価、全学部生を対象とした学生アンケートによる学修時間・学修行動の把握及び学外関係者の意見・要望を踏まえた P D C A サイクルの体制等も整いつつあることや、各種委員会の関係規程も教育の質の向上につながる方向性で再点検されたことを確認しました。

今後も将来計画を踏まえた P D C A サイクルを適切に機能させることで、より一層の内部質保証を推進して参ります。

令和 7 (2025) 年 10 月

九州看護福祉大学
内部質保証推進会議